



# 宗像



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

平成二十二年・庚寅<sup>かのとら</sup>

## 年頭挨拶



宗像大社 宮司 高向 正秀

明けましておめでとうございませす。皇紀二千六百七十年、平成二十二年庚寅の新春を迎え、皇室の弥栄を言祝ぎ、氏子・崇敬者皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。年頭にあたり、「天孫奉助天孫所祭」との神勅を天照大御神様より賜り、皇室守護・国家安泰を旨とする宗像大神の御神徳、由緒に思い

を致しますと、改めて広大無辺なる御神意と御神徳の発揚を專一に、社務に専念いたす所存でございます。皆様には、何卒倍旧の御指導御鞭撻を賜りますよう切にお願ひ申し上げます。  
 昨年は、天皇陛下御即位二十年、御成婚五十年という佳節でございました。多くの国民が挙つてこの慶賀をお祝いし、悠遠の歴史を持つ日本の真の姿を再認識していただく大きなきっかけとなったことでしょう。又、戦後ほとんどの時期を政権与党として君臨した自由民主党が、民主党に敗北し下野するという変化の年でもございました。新政権がどのような国家観を持ち、我が国を如何なる方向へ導くのか、一抹の不安を感じるの私だけででしょうか。特に皇室への不遜な言動は、決して看過できないものであります。  
 私達は建国以来、皇室を中心として君民一体となり、数々の困難に打克つて来ました。それだけに

国家の安泰と国民の平穩を第一に大御心を寄せてこられた、陛下のお姿に思いを致しますと残念でしたかたがありません。今一度、皇室を中心とする国柄や往古より連綿と継承してきた美風、精神を、真摯な気持ちで己が心に問ひ掛けていただきたいと思ひます。  
 日本文化の、そして日本民族の精神的な核であり、日本人の心を再確認する重要な場所こそ、神奈備の杜に囲まれた神社の使命だと確信いたしております。日本人本来の資質を喚起し、我が国の将来に光明を見出すためにも、そして子孫に誇れる国家を伝承するためにも、皆様方と共に新たな覚悟を以つて一歩ずつ確実に取り組んで参りたいと存じますので、お力添え賜りますようお願い申し上げます。  
 最後になりましたが、本年も皆様方にとりまして良き年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成22年元旦 謹んで新年の御祝詞を申し上げます

宗像大社職員 名譽宮司 養父 山口 詩織 宮司 高向 正秀 高田 優 宮司 堀 宜 堀 宏 神野 彩 権掬宜 渡邊 幹之 重住真貴子 菅津 秀丸 石津 典秀 杉山 安彦 花田 純子 佐々木大治 岩佐 光二 中原 裕生 岩田 弘 坂本 敬 吉田 仁 御床 直之 井上 光生 大塚 宗延 奥宮 種男 長友 貞治 阿部 和代 壹岐 貴寿 竹本百合子 松林 拓 七田かよ子 吉野 理 非常勤管理員 日高 庸介 力丸 正輝 鈴木 祥裕 藤島ツタエ 船越 裕介 藤島ツタエ 小方麻紗美 吉田 達彦 松崎 理加 吉田 義秀 藤原 愛里 岩佐 保雄 葛屋 茜 嘸 託 石井あゆみ 中野 正幸 岡田華代子 河窪奈津子 古賀有加里 砂場 一明 澤崎 有希 石井 忠 田中 志保 非常勤講師 立川佳里 大野 展男			宗像大社責任役員会 代表役員 高向 正秀 責任役員 出光 昭介 松尾 新吾 長尾 重夫 麻尾 泰夫 出光 豊二 田中 浩二 清水 晃 伊東信一郎 谷 正明 伊東 参伍 松井 守 清水 正敏 安部 照生 佐藤 俊基 寺島 俊基			宗像大社氏子会 監事 藤田 茂令 橋本 敦男 安部 照生 村田 政夫 大嶋 和敏 古賀 理 石橋 定雄 古屋敷清文 城野 寅夫 松井 善徳 永島 繁美 古賀 理 沖西 敏明 坂口嘉一郎		
---	--	--	--	--	--	--	--	--

# 年頭挨拶

世界遺産登録と  
県民機運の醸成に向けて



福岡県知事  
麻生 渡

あけましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、晴れやかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録推進活動に、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は、昨年一月にユネスコ世界遺産暫定リストに記載されました。このことは、連綿とつながる地域の豊かな歴史を顧みる好機となりました。昨年二月に福津市で開催しました暫定リスト記載記念シンポジウムには、県内外から多くの皆さまが集まりになり、本遺産群に対する関心の高さをうかがい知ることができました。

世界遺産は、人類の宝です。私たちは、地域が誇る優れた遺産を永く後世に伝えていく責務があります。幸いにして、本遺産群の文化遺産と豊かな自然は、皆さまの信仰に支えられ今日まで守られてきております。官民一体となって設立した「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議では、宗像市、福津市の皆さまとともに、この遺産を誇りとして守り伝えながら、世界遺産への登録を目指して努力してまいります。

世界遺産推進会議では、これまでに、国内の専門家を招き、本遺産群のコンセプトを中心に検討を行ってまいりました。今後は、本遺産群の顕著で普遍的な価値を証明するための国際比較など、さらなる学術的な研究が重要になるとともに、保護・保全に向けた理解を一層促進する必要があります。

本年は、一月末に国内外の専門家を招いて国際シンポジウムを開催し、本遺産群の価値について議論を深めます。ユネスコの世界遺産センターへ提出する推薦書作成に向け、海外専門家の声を早期から盛り込み、その価値を海外に、確実に発信してまいります。



宗像大社をはじめとした皆さまのご助言を賜りながら、世界遺産登録に向けさらに邁進してまいります。皆さまの熱意を大きな原動力として、実現に歩を進めてまいります。一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

皆さまにとつて、本年がすばらしい年となりますよう心から祈念いたします。

## 有吉徳雄 医院長 錦鯉一五〇匹を奉納

十一月二十二日、宗像市内で産婦人科医院を構える有吉徳雄医院長が、約一五〇匹の錦鯉を奉納され心字池に放たれた。

既報の通り、当大社では今年多くの鯉を失ったが、それを養鯉の方々にご相談したところ、有吉医院長をご紹介いただき今回の奉納となった。医院長は昭和五十四年宗像市東郷で開業されているが、ご尊父は当大社のすぐ前で内科医院をされており、幼少時より心字池の鯉を見て育ったとのことと、今回の奉納も快諾いただいた。

当日は、医院長も養鯉仲間の方々と共に来社頂き、池の状況を十分に確認したうえで処置を行い放流して頂いた。

有吉医院長は約二十五年間養鯉をご趣味にされ、全日本チャンピオン大会優勝など過去何度となく様々な大会で受賞しておられるようで、今回奉納いただいた鯉も色・柄ともに素晴らしい錦鯉である。



冬場は動きが鈍いようで水底にひっそりと身を潜めているが、水温の上がる来春には元気に泳ぎ回る鯉を愛でていただきたい。

有吉医院長には紙面を借りて深謝申し上げます。

## 年頭挨拶

宗像市長  
谷井 博美

新年明けましておめでとうござ  
います。皆様方におかれましては、  
希望に満ちた輝かしい平成二十二  
年の新春をお迎えのこととお慶び  
申し上げます。また、日頃より宗像  
市政に温かいご理解とご協力を賜  
り、改めて感謝を申し上げます。

さて昨年を顧みますと、リーマ  
ン・ショックに端を発した不況が  
深刻化し、わが国の主要産業であ  
る自動車関連業界の多くが赤字に  
陥るなど、暗いニュースが駆け巡  
る一年でありました。しかしこの  
ような中、本市では一月に「宗像・  
沖ノ島と関連遺産群」がユネスコ  
の世界遺産暫定リストに記載され  
るなど、大きな飛躍の年でもあり

ました。

宗像大社は、その氏子である宗  
像地区民の心の糧として、輝かし  
い歴史と文化を築いてまいりまし  
た。宗像は宗像大社を抜きにして  
は語ることができず、先人の皆様  
が私たちに残していただいた貴重  
な財産であり、まさに宗像のシン  
ボルといえます。

今回この宗像大社をはじめとし  
た遺産群が暫定リストに記載され  
たことは、本遺産群のもつ崇高で  
普遍的な価値が、世界的にも高く  
認められた結果であるとともに、  
宗像大社が今もなお受け継がれる  
信仰を守り続けられてきた賜物で  
あると、改めて感謝申し上げます。

今後はこの暫定リスト記載を大  
きな足掛りとし、引き続き世界遺  
産登録に向け、福岡県、福津市、宗  
像市が一体となって、活動に取り  
組んでまいりたいと考えておりま  
す。特に、世界遺産登録に必要な顕  
著な普遍的価値の証明や、文化庁  
から与えられた課題の解決など、  
世界遺産登録に向け、更なる学術  
的な調査研究が必要です。したが  
いまして、宗像大社をはじめとし、  
専門家や関係機関のご意見並びに  
ご助言をいただきながら、着実に  
歩を進めてまいりたいと考えてお

ります。さらには、世界遺産登録の  
真の目的である本遺産群の保全保  
護のため、国内外にその価値や素  
晴らしさを発信するとともに、郷  
土愛を育み、後世に残し、引き継い  
でいくための広範な啓発活動にも  
注力してまいりたいと考えており  
ます。

今後の世界遺産登録活動では、  
これまで以上にさまざまな局面に  
おいて宗像大社とより密接に連携  
をとり、活動の展開を図っていく  
必要があります。このようなこと  
からも、宗像大社におかれまして  
は、今後も引き続き世界遺産登録  
活動並びに本遺産群の保全保護に  
対し、温かいご理解とご協力を賜  
りますよう、心からお願い申し上  
げます。

最後になりますが、宗像大社に  
おかれましては、本年平成二十二  
年もますますのご繁栄の年になり  
ますことを祈念いたしますととも  
に、御崇敬の皆様のご多幸、ご健勝  
をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶  
とさせていただきます。本年もど  
うぞよろしくお願  
い申し上げます。



画像情報企業

株式会社 ゼネラルアサヒ

〒812-0064

福岡市東区松田3丁目777番地

TEL 092-611-8311

デジタルグラフィックス研究所

宗像市アスティ1丁目5番地

# 古式祭・鎮火祭齋行

## 古式祭

師走十三日(日)、八五〇年の伝統を持つ「古式祭」が齋行された。この神事は神前で行われる祭典と、清明殿で行われる「御座」の二つで構成され、神饌(御供え物)は神職だけではなく地元宗像市田島・江口区民、地元総代等が一丸となって調製し、御座は田島区内八班の氏子が毎年交代で奉仕する(今年は吹浦班)という宗像地方独自の神事である。

また、今年は神社本庁より祭務



午前6時、浄間の中、齋行される古式祭

課長の神保都夫主事が来社し、古式祭の調査が行われた。

祭典はまだ夜が明けない暗闇の午前六時、前日から参籠した高向宮司以下神職が奉仕し、宗像市田島・江口両区長、吹浦班長、地元総代が参列し齋行された。

また、神職だけではなく御座を奉仕する吹浦班の男性八名も参籠を行い、清明殿での奉仕にあたった。

御神前にはミカンの原種である「九年母」、同市の浜にこの時期しか打ち上がらない「ゲバサモ」と呼ばれる海藻など、この祭典だけに調製された特殊神饌が供えられた。

一方、清明殿入口には午前五時頃より、同六時の「御座」受付開始を待ちわびる参拝者の列が出来



古式祭御座



鎮火祭

た。御座の一番座は、祭典後の午前六時三〇分から一座五十名で始まり、本年は五番座までと、御座数は変わらないものの五番座では五十名を超え、田島区約九二名・地元田島区以外からも約一六六名。計約二五八名が参列された。

膳には特殊神饌として神前に供えられたものや、田楽・ガメ煮・甘酒・なま酔などが並び、参列者は平素口にするのできかない御膳に舌鼓を打ちながら、宗像大社・氏子が受け継ぎ・守り続ける神人和楽の一時を過ごした。

## 鎮火祭

同日午前十時からは鎮火祭が齋行され、古式ゆかしく火打石で忌火を起こし、瓠(かぼ)で水を汲み火に注ぎ忌火を鎮め、その上に赤土をかけ川菜で覆う「鎮火の儀」が行われた。

迦具土神の荒びを鎮め、その災いを受けることの無いようにと、火災の絶無と消防関係者の安全を祈り、谷井宗像市長、小山福津市長をはじめ、両市内の消防関係者、山田県議会議員、荒巻宗像警察署、氏子代表者らが参列し、敬虔な祈りを捧げた。

# 暮らしの真ん中に



## 西日本新聞社

<http://nishinippon.co.jp/>

本社 福岡市中央区天神1丁目4番1号 〒810-8721  
TEL 092(711)5555(代) FAX 092(711)5152  
東京支社 東京都中央区八重洲2-8-7福岡ビル 〒104-0028  
TEL 03(3273)8585 FAX03(3273)8586  
大阪支社 大阪市中央区北浜3-1-21松崎ビル 〒541-0041  
TEL 06(6202)6351 FAX06(6202)6356  
北九州支社 北九州市小倉北区田町19-5 〒803-8515  
TEL 093(561)1131 FAX093(561)7793

# 「神宮大麻」 「宗像大社神符」 頒布始祭齋行

十一月十七日午前十一時より、平成二十二年の「神宮大麻」と「宗像大社神符」の頒布始祭が、当大社祈願殿で阿部信宗像支部副支部長(宮地嶽神社禰宜)齋主の下、厳肅に齋行された。神宮、県神社庁と順次の頒布始祭に続き、この祭典を終えるといよいよ宗像地区内でも新年に向けた新たな神札の頒布活動が始動する。



当日は福岡県神社庁より浄見副支部長(宮地嶽神社宮司)をお迎え

職・氏子総代約一六〇名が参集、祈願殿は参列者で埋め尽された。

祭典の中で阿部齋主より頒布者を代表し「神宮大麻」は宗像支部神社総代会沖宗利会長(福岡県神社総代会会長)に、「宗像大社神符」は宗像大社氏子会安部照生会長へとそれぞれ授けられ祭典は滞り無く終了した。

祭典後、清明殿で式典が執り行われ、来賓を代表し浄見副支部長、福岡県議会議員阿部弘樹氏代理令夫人にご祝辞を賜った。

続いて、昨年頒布増となった宗像支部、神社功労者への表彰伝達式が行われ、浄見副支部長より各被



沖嶽神社総代会長に授けられる「神宮大麻」



安部氏子会長に授けられる「宗像大社神符」

表彰者へ手渡された。

そして、宗像支部神社総代会沖会長による、今一度の伊勢神宮式年遷宮奉賛活動の協力を強く訴える挨拶がなされ本年の祭典・式典を終えると、総代の方々は各地域分の神札を手に当大社を後にされた。

表彰者は左記の通り

◆ 神宮大麻 頒布功労者神宮表彰  
福岡県神社庁宗像支部

福岡県神社庁

◆ 神宮大麻頒布功労者表彰  
神宮大麻頒布功労者表彰

◆ 宗像大社氏子会 評議員  
坂口 嘉一郎 (宗像市大島)

◆ 宗像大社氏子会 総代  
中原 守 (福津市東福岡)

◆ 摩利支神社 責任役員  
天野 英敏 (宗像市東郷)

あなたのいちばんに。

FFG 福岡フィナンシャルグループ

明けましておめでとうございます。  
今年もよろしく  
お願いいたします。



福岡銀行

宗像支店 宗像市東郷5-4-5 TEL 0940-36-2017 赤間支店 宗像市土穴2-1-17 TEL 0940-33-7211

# 大注連縄を懸け替え

本殿、第二宮、第三宮

新年を迎えるにあたり十二月九日、辺津宮本殿・第二宮・第三宮の大注連縄懸け替え奉仕が行われ、藁の香り漂う真新しい注連縄が大島の沖・中両宮奉賛会、同翼賛会、田島の総代・協力会ら約二十名の御奉仕により無事取り付けられた。

この注連縄は、十一月中旬地元田島の総代・協力会総出で藁すぐり作業を行い大島へ送った藁を、沖・中両宮奉賛会・翼賛会の御奉仕により、時化の時を見計らって大注連縄が縄われた。長年の経験と知識が必要であり、三十年余り大島で受け継がれている。

完成した大注連縄は、大島から海を渡って辺津宮へと運ばれ、先ず辺津宮、次いで第二宮・第三宮へと懸け替えられた。

また大注連縄は藁がばらばらになることのないようにと、大島の漁師さんの発案により、ブリなどの大物を釣り上げる時に使う透明のテグス(太い釣糸)が等間隔

で美しく巻かれている。初詣参拝の折には、農家と漁師が思いを込めて奉製された大注連縄もご覧下さい。



# 第三十六回 宗像本因防戦

## 宗像本因坊に福永雅通氏

十一月二十二日(日)宗像本因坊戦(五・六段)、宗像大社奉納囲碁大会(初段〜五段)が当大社斎館・清明殿で開催された。宗像地区では毎年七〜八名の新会員が加入しているようで、当日は宗像・福津両市内から約二〇〇人が参集した。

囲碁大会は三十一組一八六名が参加し、初〜五段までを六人一組に別け、各組ごとに優勝者を決定した。

一方、宗像本因坊戦は文字通りその年の実力ナンバーワンを決める大会で、五・六段の高校者十六名(一人持ち時間四十五分、一戦が九十分)によるトーナメント形式で行われた。

昨年優勝の石田徳房氏が準決勝で敗れるなど連覇が難しいことで知られており、盤側に集まった観戦者は固唾を飲んで勝負の行方を見守った。熱戦の末、本年は上位三名が福津市の方で占められ、宗像本因坊には福永雅通氏(六段)が輝いた。



成績は左記の通り  
宗像本因坊  
福永雅通 (福津市津屋崎)  
準優勝  
浅見忠雄 (福津市福岡)  
三位  
小田征人 (福津市福岡)

エアコンの取付工事も OMAKASE!

キッチンのリフォーム工事も OMAKASE!



お風呂やトイレ配管工事も OMAKASE!

床暖房の工事も OMAKASE!

# 住まいのことなら、何でもおまかせ。



第38回

宗像大社短歌大会

一般、小・中・高生の部計一四四二首の応募  
宗像大社短歌大会実行委員会 野間 精一

第三十八回宗像大社短歌大会(実行委員会主催・毎日新聞社共催)が、十一月十五日宗像大社清明殿で開催された。

小・中・高生の部は午前中(選評||桜川冴子氏)、午後から一般の部(選者||青木昭子氏、桜川冴子、中西輝磨氏、野田光介氏)が行われ、冒頭宗像大社高向宮司より「日本人には相手のことを思いやり、自然を愛でるといふ美風がある、その感性を培い磨くものの一つが短歌であるとの挨拶があり、参加者一同に深い感銘を与えた。今回の応募数は、一般の部||二二二一首、小学生の部||二五五首、中学生の部||二六二首、高校生の部||六九四首、計一四四二首、(前年比二二九首増)であった。主なる受賞者 受賞作品は下記の通り



一般の部

福岡県知事賞

聞いているつもりで何も聞いていぬ  
雨のしたたる黒きひまわり  
間 千都子(春日市)

福岡県教育委員会賞

夜学より帰る野道のはや冷えて  
冷気のなかに稲の匂ひす  
西山 博幸(大牟田市)

宗像市長賞

めぐりには風ふくばかりうかうかと  
われをしまひ忘れて日ぐれ  
山崎 碧(福岡市)

宗像市教育委員会賞

佛にも阿修羅にもなる看取りの日  
ぎぼしの花にふる片時雨  
上妻 寿賀子(福岡市)

毎日新聞社特別賞

時雨止み音のはてたる静けさに  
ポットの白湯が再沸騰す  
佐々木 和彦(福津市)

宗像大社宮司賞

千年杉今日もあしたも千年杉  
何時から一歳年取るのだろう  
石川 愛子(筑後市)

宗像大社氏子会賞

一線に揃はぬ苗の学習田  
百の足形ぼによぼによ踊る  
波田 壽子(宗像市)

小学生の部

宗像市長賞

犬がきたちいさいのちだきしめて  
「だいじにするよ」そつとちかった  
柘植 琢朗(日の里西小三年)

中学生の部

宗像市長賞

受験生なにをするにもついてくる  
この三文字が何だか憎い  
原 涼太(直方第三中三年)

高校生の部

宗像市長賞

向日葵の時間を止めた絵の具かな  
ゴッホの絵画今に伝わる  
吉武 達弘(宗像高二年)

謹賀新年

新しい年が素晴らしい一年となりますよう  
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

2010年元旦



ダイドードリンク株式会社  
九州支店  
092-663-2171

ダイドードリンク株式会社  
福岡東営業所  
092-663-2310

ダイドードリンク株式会社  
福岡南営業所  
092-574-4642



第14回  
出光興産(株)中堅社員研修  
宗像大社研修所感  
出光興産株式会社  
人事部教育課

十一月二十七、二十九日までの三日間、第十四回中堅社員研修の宗像大社研修を実施させていただきました。今回の研修には国内各事業

所の社員二十七名と、アメリカ、中国で勤務している社員二名の総勢二十九名が参加しました。



宗像大社研修は、「日常生活と離れた神域に身を置くことで感性を高めること」「創業者・店主出光佐三が多大な影響を受け経営の原点とした日本の伝統文化に触れその思いを感じ取ること」の二つを目的に行わせて頂いております。

研修のはじめには、宗像大社で研修をさせていただくことを御祭神様に奉告し、研修が無事に実り多いものになる事を祈願する研修開始奉告祭を本殿で執り行います。日常あまり機会がない神社での正式参拝を行うことで参加者の気持ち在日常から切り替わりました。

その後、高向宮司より「出光佐三店主は神郡宗像という土地で生まれ育ち、その中で養われた日本人



の精神が出光興産の精神の根幹となっている。この宗像研修においてその考え方について学び、体感をして欲しい。」との講話をいただき、参加者はあらためて宗像大社で学ばせて頂く重要性を確認出来ました。

その上で、研修は潔斎、白衣白袴の着用、日供祭、高宮での鎮魂等、生まれて初めての経験が続き、完全に日常から脱して、新たな気持ちで日本の伝統文化に触れていきました。

新たな気持ちで触れた日本の伝統文化は、日常生活の中で意識する機会は少なくなつたものの、それぞれの生活、価値観の中に自然と根付いているものであることに気づき、また、神職の方と同じ装束で、神域に身を置いて生活する中で、自然と尊重していく大切さを感じたようです。

特に、宗像大社は沖の島の祭祀遺跡からも明らかにされているとおり、日本伝統文化の原点からの歴

明けましておめでとうございます



SF CALL CENTER : 050-2015-1489  
http://www.starflyer.jp

株式会社 スターフライヤー  
代表取締役社長 米原 慎一





史を持つ貴重な社で、その歴史を宗像大社の御由緒として説明いただき、また神宝館に収められている遺物を実際に目にすることで、他では感じられない日本文化の奥

深さを体感することが出来ました。そして、研修の最後には神職の皆様との座談会の場を設けていただきました。それぞれが育っていく中で感じてきたこと、また宗像大社研修での体験から感じたことを参加者からお話させていただき、それに対して神職の皆様は思いや考え方を腹藏なくお話下さいました。そのような会話を通じて、参加者がそれ

までなんとなく感じていた、日本の文化への疑問が払拭され、日本の伝統文化を尊重し受け継いでいきたいの思いを持つことが出来ました。このような思いは同時に、日本の伝統文化が根幹となつている、弊社の理念を継承し、後輩に受け継いでいくとの考えにも繋がったようです。

このような研修内容の実施にあたっては、これまで以上に多くの神職の皆様にご協力いた

きました。あらためて御礼を申し上げます。

最後に、研修生の感想を一部ご紹介し、宗像大社研修の成果をご報告申し上げます。

「神社が地域社会に果たす役割を知ることができ、出光の理念もこの思想が原点にあることを体験を持つて知ることが出来た。」店主の考えの根本にある神道の世界を一端ではあるが体験でき、わが社の理念を咀嚼する上での大きな助けとなった。「店主が宗像大社によせた思いを知るとともに、日本人たるものを我々社員に学び取って欲しいと

いう思いを体験することが出来た。」神道の教えやそれに仕える方々の姿勢に触れることで、自身に一番欠けていた「感謝の心」について改めて考えることが出来た。」という感想が数多く寄せられました。中堅社員研修のはじめに宗像大社で研修させていただく意義が十分伝わっていることが確認できました。

このような貴重な機会をご提供いただきました宗像大社の皆様にお礼を申し上げますとともに、宗像大社の益々のご繁栄をお祈り申し上げます。研修の所感の結びと致します。

## 太宰府天満宮との親善野球

十一月十八日、恒例の太宰府天満宮との親善野球大会が秋季は当大社当番で、福津市「なます」の郷運動公園野球場で行われた。

寒波が到来し厳しい冷え込みの中であつたが、午後三時予定通り試合開始となり、太宰府天満宮の神島(崇)、当大社の大塚両主戦が先発のマウンドに立った。

三連敗を阻止したい宗像打線は、神島投手の立ちあがりや攻め序盤は当大社リードで折り返した。中盤は投手戦となり、当大社大塚も再三のピンチをしのぎ試合をつくつてきた



左が太宰府天満宮チーム、右が当大社チーム

が、終盤ついに太宰府打線にばかり吉武(太宰府)が逆転適時打を放ち試合を決めた。

当大社は中原、鈴木の連打が出るもそのあとが続かず、得点は初回の二点のみ。肩の温まった神島投手に手も足も出ず、結果六対二で太宰府天満宮は連勝を三に伸ばし、今季も当大社は連敗を止めることは叶わなかった。

試合後は当大社五月寮で両社後発の面々も加わり、総勢六十名の懇親会が行われより一層の親睦を深めた。

# TOYOTA

福岡県トヨタ販売店グループ

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡トヨタ自動車株式会社

取締役社長 金子 直幹

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目8番28号  
電話(092)761-3331

トヨタカローラ福岡株式会社

代表取締役社長 有田 耕一

〒810-8603 福岡市中央区長浜2丁目1番5号  
電話(092)712-7111

ネッツトヨタ北九州株式会社

取締役社長 宮里 宣哲

〒806-0041 北九州市八幡西区皇后崎町14番6号  
電話(093)642-2111

福岡トヨペット株式会社

代表取締役社長 山口 正俊

〒812-0008 福岡市博多区東光1丁目6番13号  
電話(092)411-1121

トヨタカローラ博多株式会社

代表取締役社長 久恒 兼孝

〒812-0042 福岡市博多区豊2丁目3番50号  
電話(092)441-2111



遠賀宗像会の皆様

十一月二十二日に福岡宗像会、翌二十三日に遠賀宗像会が当大社へ参拝された。  
福岡宗像会は、櫛田神社に事務局を置き同社の阿部憲之助宮司が会長を務められている宗像出身の福岡市在住の方々の親睦会である。当日は昇殿正式参拝の後、葦津禰宜の案内で神宝館等を拝観。その後、福岡市で懇親会が催され親睦が深められた。

# 「福岡宗像会」「遠賀宗像会」参拝

遠賀宗像会は、昭和二十二年に宗像出身の遠賀町在住の方々により創立された親睦会である。しかし、会員の高齢化などにより今回の親睦会を以って解散のやむなきに至り、当日は山中圭介会長以下十八名が参列、御神前で解散奉告祭が執り行われた。祭典後は神湊で懇親会が開かれたとの事である。

かつては、全国に旧宗像郡出身者の親睦団体として宗像会があり、活動も盛んであった。  
弊紙「宗像」も今日では当大社が発行しているが、創刊は宗像会であり会員の動静や郷土の話題が中心であった。時代の流れで各地の郷土出身の親睦会などが無くなつて行くのは寂しい限りであるが、ここに遠賀・福岡両宗像会皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。



## 節分祭の御案内



本年も下記日程で節分祭を斎行致しますので、皆様振るってご参列下さい。

宗像観光協会主催 豆まき



1月31日(日)

◎豆まき 午前11時～ 午後2時～ 於=本殿横 特設舞台

2月3日(水)

◎節分祭 午前11時～ 於=本殿

◎豆打ち式 午前11時30分～ 於=本殿横 特設舞台

※両日とも少雨決行ですが、雨天の際は昨年同様、祈願殿にて祭典・豆まきを行います。

謹んで新年の御祝詞を  
申し上げます  
平成22年 元旦

株式会社 **ハーベスト警備**  
福岡県公安委員会認定第581号  
代表取締役 **坂上 正晴**  
〒813-0044 福岡市東区千早5丁目21-2サンビル2F  
TEL (092)673-0180 FAX (092)673-0190

**福岡ダイハツ販売株式会社**  
代表取締役社長 **内山 邦彦**  
〒812-0007 福岡市博多区東比恵4丁目10番11号  
電話(092)411-1330【代表】

**理容とんぼ**  
〒811-3436  
福岡県宗像市東郷5丁目5-10  
TEL (0940) 36-2405



社団法人 **日本自動車連盟 九州本部**  
**JAF** 本部長 **金子 宜嗣**  
〒814-8505 福岡市早良区室見5-12-27  
電話(092)841-7676【代表】

玄海灘を望む風光明媚な格調高いシーサイド・コース  
**玄海ゴルフクラブ**  
〒811-3502 福岡県宗像市江口578-18  
電話(0940)62-2233【代表】  
FAX(0940)62-2728



# 干支はりこ

# 新しい干支縁起物

# 干支絵馬

木型に紙を貼り、乾いてから型を抜き取ったものを「張り子(はりこ)」と申します。

張り子は動物や達磨、また幼児の玩具として親しまれてきました。おなじみの方も多いのではないのでしょうか。そんな張り子の干支を本年から縁起物として授与致します。

張り子の中に鈴の入った「紙音」、干支の寅が破魔矢を持った「破魔矢寅」、首の部分が動く「首振り寅」の三種類です。

絵馬は本来神社に奉納する馬絵の額ですが、後に祈願や奉謝の気持ち、或いは時代の象徴として様々な画題が描かれるようになりました。

今日では神前に捧げるばかりでなく、安寧の願としてご家庭、職場でもほうほう奉斎(ほうほう)いただいております。

本年新たに奉製したこの「干支絵馬」は、今年の干支「寅」をモチーフに、縁起の良い白い寅に、子孫繁栄の願いを込め親子で描かれています。

裏面に願い事を記し、境内「絵馬堂」にお掛けいただいても結構ですし、(大)は箱入りで、木製の足も付いておりますので、ご家庭や職場で奉斎し平穏な幸多き一年をお過ごし下さい。

干支張り子  
(首振り寅)  
初穂料 1,000円



干支張り子(破魔矢寅)  
初穂料 700円



干支張り子(紙音・鈴入り)  
初穂料 500円

いずれも、本殿・祈願殿授与所でお受けいただけますし、新春「福みくじ」でも景品として当たります。



干支絵馬(大) 箱入り・足付  
初穂料 1,000円



干支絵馬 初穂料 500円

## ◆ 謹んで新年の御祝詞を申し上げます ◆

玄海国定公園の中心  
— 風光明媚、生魚料理、宗像大社となり —  
**玄海ホテル旅館組合**

国民 宿舎 ひびき	みな と 荘	松 風 荘	は な わ ら び	高 嘉 旅 館	神 湊 ス カ イ ホ テ ル	玄 海 ロ イ ヤ ル ホ テ ル	玄 海 旅 館	魚 屋 別 館	魚 屋 本 店
☎	☎	☎	☎	☎	☎	☎	☎	☎	☎
62940 11288	62940 22555	62940 0120	62940 0107	62940 1221	62940 3800	62940 4111	62940 0001	62940 3355	62940 2122

# 第五八一回 宗像大社歌会詠草

大野展男選毎月25日メロ



北九州市 八幡西区 吉田ウト子

西王母椿咲きしと添へある師のたよりあな羨しもよ炉開きの花  
風雅を愛す師と作者の心の交流がほの見える一首

福岡市 西区 井田有久衣

昨夜バス目覚めてみれば雪景色窓の結露のしづかに流る  
川端康成の雪国の一章を思い出させる情景である。結句は流れてやまずとすべき。

北九州市 八幡西区 豊田 光子

昨夜より子の飛行ルート北は雪地球の裏側デイゴの花咲く  
井田作品にはゆつくりとした時間の流れがあるがこの一首のスピード感は一寸異常である。下句は「昼はデイゴの花咲く沖繩なら落ち着くのだが。」

宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子

八十歳を越えて漸く悟りしは今日を無理なく生きるといふこと  
やや観念的な感があるが生きる上での悟りがあり、いい。

福岡市 星ヶ丘 佐々木和彦

両眼の視野のなかには飛ぶ鷺と耕地に写るその影のあり  
「両眼の視野のなかには」と当り前のことをわざわざ述べているのは、白内障かなにかの術後のことだろうか、そこが出るというのだが。

北九州市 八幡西区 遠藤 幸子

いつのまに根づきたりしか水引草紅さわやかにあしたゆれる  
作者は病気で臥している由、水引草に己のいのちを重ねて見ているのだろう。下句がいい。

宗像市 田 久 巻 桔梗

菊花展・七五三・休日かさなる日短歌大会は満席となる  
よろこびがそのままりズムとなつて一首。

福岡市 若木台 野間 精一

御神木の櫓の老樹に手を触り拝めばいのちもらひしおもひ  
本殿横の櫓の古木のたたくまは見事無限の力を秘めているようである。その木から貰った生きているいのちである。

福岡市 若木台 山崎 公俊

たごりひめは多霧姫かと申されき秋の沖ノ島詣でし人は  
「申されし」にこめられたしなめころ、いかにも作者らしい一首である。

うきは市 浮羽町 向 則正

三歳の子に追ひつけず息切れの吾を残して道渡りゆく  
よろこびと嘆きの入りまじった歌。四句は「吾を無視して」の表現もある。

宗像市 大島 杉田 禮子

子供らが祝いてくれし古希の旅由布院の夜はにぎやかに更く  
上句は夫と二人のみの旅のようであり、下句は子供たちも一緒のようである。どちらだろうか。上句を子供らに祝はれてを古希の宴とすれば首尾一貫する。

宗像市 土穴 山本 静子

うしろ手に胸を張るとほほえみし友との出会いふと思ひ出づ  
「うしろ手に胸を張る」とはどんな状態だろうか「手をうしろに胸を張る」のではないか。面白い処をとらえているのだが。

宗像市 田野 森 甲子

寒風ふく昨日とうらはら松越しの玄海灘は銀にきらめく  
たのめない初冬の玄海灘の天候を詠っているが、「うらはら」まで言わないで、「二句は「寒き風昨日は吹きたり」でいいのでは。

北九州市 戸畑区 田中ハツセ

身に凍みる霜月半ば頂きし西瓜一切寒寒と見ゆ  
下句は鋭敏なものを感ずるが、上句が一寸判りづらい寒さ身にしみる霜月では。

福岡市 荒戸 相良 公子

カラすさえ夕暮時は果にもどるいつこにいます帰らぬ君は  
この歌は下句が判りづらい。(A)君は亡くなったのか(B)家出したのか。(A)なら「君のたましい」(B)なら「家出せし君と具体に述べるべきである。

宗像市 日の里 大和美由紀

満開のコスモス園に来合はせる足許からはちちる虫鳴く  
「来合はせる」はどうだろうか「友と会ふその足許にはどうですか。

福岡市 平尾 田中 公次

独り住む母を訪ねて語り合ふ遠い日のこと近き日のこと  
母と子の久々の会いであり語らうである。穏やかな秋の日差しが見える。

福岡市 中央 池浦千鶴子

柿の葉の茜色して散りのこる間より身ゆるるとほき山山  
福岡市 柏原 加野シノブ

白菜を見れば昔を思い出す四斗樽一杯漬けし事ぞ

二首共素直に詠われている。そこを良しとするが物足りないとするか意見の別れる処だろうか、私は良しとする。

選者詠

人の手に程良き配置に植ゑられて二百を超えし冬牡丹咲く  
さまざまの色もちて咲く冬牡丹燦火のごとき一花もありぬ

冬牡丹二百花あまりおほかたは握りこぶしの程の大いさ

# 第五五六回 俳句作品集

宗像市 神湊 永島 紀子

美容室の鏡に釣瓶落しかな

宗像市 日の里 花田いつ枝

御座船に波立ち上るみあれ祭

宗像市 光岡 白土 凌一

小鳥来るとこから来るヤカワセミは

10日 恵比須神社祭	1日 歳旦祭
午前11時	午前7時 総社祭 地主祭
	午前9時 総社引き継ぎ 総社祭 地主祭
13日 蘇米奉告祭	2日 新年祭
午前11時	午前9時
	3日 元始祭
15日 月次祭 成人祭	午前9時 宗像国神社新年祭
午前10時 高宮祭 第三宮祭	
午前11時 第二宮祭 第三宮祭	
	午前11時 総社祭 成人祭

## 編集後記

本年は庚寅(かのえとら)です。庚は「更(あらた)まる」草木の成長が行き詰まり、新たな形に変化しようとする状態。寅は生まれ出る、動き始めるなど「動」の意だ。その意は「動」の一年となるかもしれません。懸念されることも多々ありますが、「最強の干支」である寅にあやかり、健やかな一年になりますよう折念申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。(塚)

宗像大社社務所 発行所 宗像大社社務所

〒811-3505 福岡県宗像市田島  
電話 0940-62-1311(代)  
発行人 藤澤幹之  
編集人 大塚宗延  
制作 ゼネラルアサヒ  
印刷 ゼネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共1,000円